

四万十町の新しい文化的施設

まちの文化が流れ、人にひらかれ、人が集まる 四万十駄場



基本設計をもとに現地
ワークショップを計画中！
近日発表します！



※写真はイメージです

2021.4.12 発行

特集 | No.

02

2021.3

基本設計完成

四万十町の新しい文化的施設 (仮称)

Concept 01

子どもたちの森衆への投資



安心して子どもを産み育てることができる取り組みによる「まちづくりの好循環化」を目指し、「子どもたちを中心にまちづくり」、「学ぶ町民とづくり」をコンセプトに新しい文化的施設の整備を行います。そして、この「子どもたちの未来への投資」が、子どもたちだけでなく、大人や高齢者の方、このまちで暮らす人々が「いろいろな情報」をもとに繋がっていくことで、「みんながよりよく生き」、「まちがにぎわう」という好循環化を目指していきます。

Concept 02

町民の数だけ、新しい生き方がある



新しい文化的施設は、読書好きの人だけの施設ではありません。町民のみなさんが日常の中で抱えている生活や仕事、子育てや介護などの色々な悩みや課題の解決のために、「調べたり」、「誰かに聞いたり」、「誰かに教えて」できる場所を目指します。また、そうした人々の「繋がり」を作り、町民のみなさん一人ひとりの「新しい生き方」の手助けとなる活動を行います。さらには、これからの時代を生き抜く力として「想像・創造体験」、「最新の情報と技術の体験」などを通して「課題を発見し解決していく力」を育てる施設を目指します。

Concept 03

まちの好循環を加速させる



①商店街の環境整備と資源の有効活用

商店街の環境を整備するとともに、既存の地域資源を活用することで町民や観光客が訪れやすくなるまちを目指します。

②空き店舗の有効活用

空き店舗の調査を実施するとともに、空き店舗を活用した新規開業者の誘導などにより、空き店舗の活用を促進します。

③文化的施設等の周辺施設との連携

商工会、観光協会と連携し、商店街と文化的施設・旧郡築部・岩本寺など、周辺施設と連動した企画やイベントの開催を進めていきます。

④起業支援と事業承継の推進による人材確保

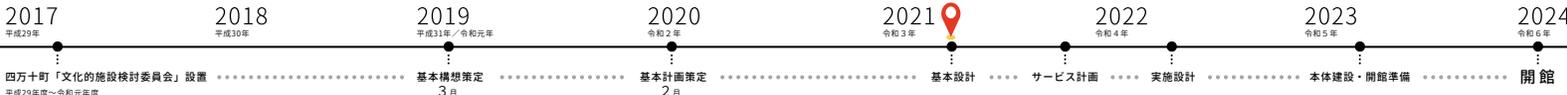
新たに事業を始める人材や中心市街地の事業承継を推進し、人材の確保を図ります。

⑤地域住民との協働・協働

しまんと街おこし応援団や商店街の事業者等の地域住民による取組みを支援し、協働・協働によるまちづくりを進めます。



開館までの流れ



02003
今年度から

四万十町役場本庁企画課内に 文化的施設整備推進室を設置

「私たちが文化的施設の整備を進めていきます」



業務職員を含めて
8名体制！

政策監 (まちづくり・文化的施設整備推進担当) 兼企画課 まちづくり推進室長	室長 大河原 信子
主査 西尾 洋亮	主任 松下 理恵
総務主幹 (兼生涯学習課副課長) 味元 伸二郎	主幹 (兼生涯学習課主幹兼図庫副館長兼美術師副館長) 宮本 美智
主任技師 (兼施設主任技師) 松下 陽介	主任 (兼にぎわい創出課主任) 嶋岡 茉美

文化的施設の準備は、平成29年度より生涯学習課が中心となって進めてきました。今年度からは、役場内や各関係機関との連携をさらに深く、準備体制をより一層強化するため、新たに文化的施設整備推進室を設置しました。



あなたの暮らしと人生に、 新しい「コマ」を作りませんか？



放課後に友達と過ごす時間

誰かに教えてもらった

気の合う仲間との趣味の時間